

緑 風

校訓 継続は力なり



鴻巣市立吹上中学校

教育目標

- ①進んで学ぶ生徒
- ②心豊かな思いやりのある生徒
- ③たくましい生徒

令和3年12月1日 第8号

吹上中、今年の漢字

校長 岡田 英行



早いもので師走を迎え、毎年恒例の「今年の漢字」の発表も間近になりました。そこで全国版に先立ち、本校の1年を振り返って吹上中版「今年の漢字」を考えてみました。いくつか候補が思いついたのですが、勝手ながら最終的に『風』とさせていただきます。選考理由は、次のとおりです。生徒の皆さんなら、どんな漢字を選ぶでしょうか？

1 スローガンは、「新たな風を巻き起こせ」

“伝統を引き継ぎ、歴史を繋げ ～新たな風を巻き起こせ 吹上中～”

この開校75周年記念スローガンは、全校生徒からの応募により決定されました。何事にも前向きに取り組もうとする意欲は部活動にも発揮され、全校の応援を追い風にしてめざましい活躍がありました。女子バスケットボール部、男子ソフトテニス部、陸上部女子砲丸投げの県大会上位入賞は大喝采の慶事でした。また、理科部がマイクラフトカップ全国大会に応募した作品名は、『いい風吹くよ、吹上』でした。一方、授業にもICTの新しい風が吹きました。1人1台パソコン・各教室の電子黒板・配信用Webカメラなどの機器も充実し、様々な場面で活用が進んでいます。もはやタブレットは、鉛筆と同じ文房具になりつつあります。

2 3年修学旅行は、風光明媚な北陸を満喫

6月の修学旅行は、感染症対策として行先を例年の関西から北陸へ変更しました。北陸新幹線の車中は会話を控えて静かでしたが、富山湾が車窓に広がったとたん「あっ、海だ！」の歓声と拍手が沸き上がりました。「海は広いな……」まで歌いだす生徒もいて、一気に和やかなムードに包まれました。東尋坊では切り立った断崖の絶景に圧倒されたかと思えば、荘厳なたたずまいの永平寺や、山あいの緑豊かな合掌造り集落に心が癒されました。さらには、遙か古代の風景をパノラマで再現した恐竜博物館では、時代を越える不思議さを体験しました。

3 三大行事を、風子ちゃんが晴れやかに彩る

行事の企画・運営は3密回避が課題となり、実行委員会がたいへん苦勞しました。それでも、コロナ禍という向かい風より生徒・職員のアイデアと行動力が勝り、体育祭・吹香祭・音楽祭ともに工夫して実施することができました。吹中生のたくましさを頼もしく感じた1年でした。各プログラムを飾ったのが、本校のマスコット・キャラクター「風子（ふうこ）ちゃん」で、“吹中日本一”の旗をかざして声援を送ってくれました。それにも増して、保護者・地域の皆様から心強いご支援をいただいたのはありがたいことでした。改めてお礼申し上げます。

おかげさまで開校75周年 ⑦

第74期生徒会の達成目標は、『生徒全員で日本一の中学校を創ろう』が継続されることになりました。この目標が初めて掲げられたのは、平成24年10月のことです（第65期）。当時、あまりにも突飛な目標だと周囲は驚いたようですが、以来10期にわたって引き継がれ「日本一」に向けた地道な活動が展開されています。例えば、朝のあいさつ運動やボランティア清掃、金曜の無言清掃とノーチャイムデー等々、他校に誇れる取組ばかりです。体育祭スローガン『日本一熱い体育祭』は現在まで継承されているフレーズで、最初は平成29年（第69期）に設定され、執行部が深紅の大会旗を制作しました。その際、体育委員長が当時の県知事に招待状を出して激励の返事が届いたのは、吹中生の行動力を物語る懐かしい思い出です。